

めす

# ♀♥空手部

話編  
二羅第

ハハハ！  
かなり  
変やな！

沙羅先輩の  
汚い足の裏  
・

SAMPLE

体験版



■沙羅に知られていた・・・

拳は、練習後には、いつも麻里の足を舐める事になった。

今日、麻里は忙しく、道場には沙羅と拳だけが最後に残っていた。

沙羅は、西洋人と日本人の混血でとてつもない美人だ。

しかし、日本人の親の方も西洋との混血なので、ほとんど外国人と言って良い程に日本人の血が入ってはいなかった。

西洋人の血が混じっているために筋肉質でありながらも長身で色白でモデルのようにスレンダーな拳好みの体型だ。

沙羅に呼び止められた。

胸も勿論巨乳だ。

「見ていたでえ～拳君！」

「は？なんですか？沙羅先輩」

「な、なにをですか？」

「あのね～拳君、この前、麻里先輩と二人でなにしてたん～？」

「な、なにして・・・？二人で、足技の練習を・・・」

「それだけ？」

「は、はい・・・」

「足技ね～、そっかあ、そっかあ、キミの中ではあれも足技の練習なんやね～？」

「え・・・？何がです・・・」